

クリスマス礼拝-永遠に変わらない 愛

ローマ人への手紙8章31-39節

2012,12,23 HKJCF

I 概論

序)クリスマスの記事:ルカ2:1-14「神に栄光、地に平和」

- | | |
|-----------------|-------|
| 1、これらのこと(クリスマス) | 31-32 |
| 2、キリストの愛の執り成し | 33-34 |
| 3、圧倒的な勝利・愛・平和 | 35-39 |
| 4、適用 | |

II これらのこと

1、クリスマスの意味

- ①キリスト・マス(ミサ:礼拝・祝典)
- ②イエス様と言う最高のプレゼント

2、クリスマスの本質

- ①原罪:神・自分自身・隣人との対立
- ②イエス様の救い:永遠の愛による和解

3、クリスマスの結果

⇒神に栄光・地に平和:対立から和解へ

III キリストの愛の執り成し

1、預言の実現 イザヤ11:1-10

①神様に栄光:人類の救いと新創造

②地上に平和:神の国の原理

⇒一時的な休戦から永遠の愛に基づく平和へ:十字架・復活・昇天(聖霊・執り成し・再臨)⇒継続的執り成し⇒新創造

2、真の平和 イザヤ65:17-25 マタイ5:5, 9,26:52⇒力による平和から神の愛による平和へ:対立心がなくなり、敵が味方となること

IV 圧倒的な愛・勝利・平和

1、神の子の勝利(神の愛の勝利)

- ①生・死:地上の人生・出来事
- ②み使い:天使

2、神の子の確信(神の愛の確信)

- ①霊的存在
- ②地上的存在

⇒永遠に変わらない愛による平和(ルカ2:14):原罪と格差・偏見・無知からの憎しみ・恐れ・虚無から愛の関係:神の愛の圧倒的な勝利←キリスト降誕の目的

V 適用

1、クリスマスの記事を思い起こそう

2、イエス様と私たちの関係を確認しよう

3、主の愛をもって闇の世に出て行こう

⇒①キリストの救いを受け取り、平和を拡大することが神様の栄光②敗北の悔しさ・勝利の空しさから真の平和へ③イエス様の永遠の愛を信じ、平和の子(多く赦された者)となり(Iヨハネ2:7-14)、愛の範囲を広げよう:愛の器となるため自分自身をイエス様へのお返し(プレゼント)としよう